

■ともに学んでふれあうまち渋川（渋川学区まちづくり協議会 子ども育成部会）

1 【活動の趣旨】

「いいなあ、いいなあ、ともに学んでふれあうまち渋川」を合言葉に、学校と家庭と地域が関わり合いながら、大人と子どもが世代を超えて、ともに協力し合い、ともに学び、ともに喜びを分かち合えるまちづくりを目指し地域協働をすすめる。

2 【特徴的な活動内容】

○「じゃがいも収穫体験」

前年度2月に地域の方が協力して渋川小学校の畑に植えたじゃがいもを子どもと大人が力を合わせて収穫し、収穫したじゃがいもは持ち帰り食することで食べ物大切さを学ぶことができた。

《概要》日時：令和4年6月18日（土）

参加：子ども 132人・大人 100人



【じゃがいも収穫体験】

○「プラネタリウムへ行こう」

地域の子どもと大人と一緒に、星座について学びに守山市にあるプラネタリウムへバスに乗って行った。帰りには地域の大人により星座盤について使い方の説明があり「さっそく親子で夜空を観察してみる」などとの声が聞かれた。

《概要》日時：令和4年11月19日（土）

参加：子ども 24人・大人 41人



【プラネタリウムへ行こう】

○「花植えじゃがいも植え」

新年度を迎えるにあたり、渋川小学校の卒業生・入学生をお祝いすることを目的に地域の子どもと大人が協働しプランターにお花の苗を植えた。また同時に来年度収穫するじゃがいもの種芋も植え、収穫を心待ちにする声が聞かれた。

《概要》日時：令和5年2月18日（土）

参加：子ども 51人・大人 51人



【じゃがいも植え】

3 【実施にあたっての工夫】

屋外事業に関しては安全性を確保するため役員を多く配置した。集団で移動する際には列の前後に誘導旗を持った役員を配置し、参加者が列からはぐれないように誘導した。また、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、受付にて検温と手指消毒を徹底した。

4 【事業の成果】

自然と触れ合うことで、地域の子どもと大人での会話が増え、役員や有志ボランティアの方へ感謝する気持ちを学ぶことができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

子どもと大人とのつながりを大切にし、地域ぐるみでできる事業を継続していく。